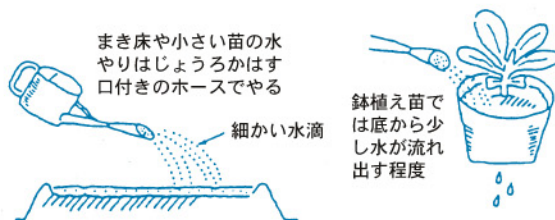


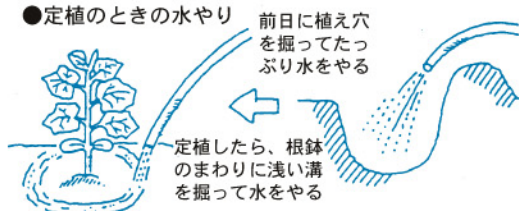
4. 水のやり方

水やりは、野菜作りの基本です。水の適量は、野菜の種類や大きさ、天候で変わりますが、育苗箱や鉢は、鉢の底から水が流れ出る程度与えます。やり方は、午前中に水をやって夕方には土の表面がやや乾くくらいが適当です。夏は午前中と夕方がよく、冬は朝にやる方が地温が下がらず根の働きを抑えません。また、苗を植え付けるときには、前日植え穴に十分水をやっておくと根つきが良くなります。植え付けてから3～5日程度は、根を中心に活着するまで水やりを行ってください。

●水やり



●定植のときの水やり



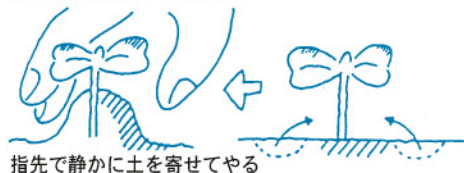
●うね間への水やり



夏の夕方、うね間に水を流す
(いつまでも水がたまるほどやるのはよくない)

土寄せのやり方

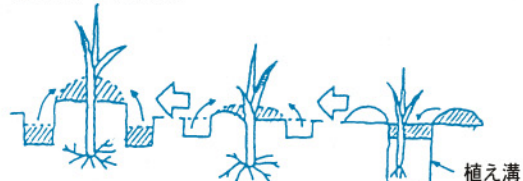
●最初の土寄せ（間引き後）



●ニンジンの土寄せ



●根深ネギの土寄せ



5. 土寄せ

株元に土を寄せることを、「土寄せ」といいます。間引きの後には、株が倒れやすくなるので、指で静かに土を寄せてやります。

ニンジン、ダイコンなどの根菜は、根の方が土の外に出ていると、寒さの害を受けやすいので、追肥と同時に土寄せをします。

ジャガイモは、イモが直接日光に当たると緑色になって食用にならないので、必ず土寄せしましょう。

根深ネギは、茎の白い部分を長くするために、2～3回に分けて土寄せします。